

## 令和2年度 第2回長野市立図書館協議会開催概要

1 日 時 令和3年2月19日(金) 午前10時00分～午前11時30分

2 場 所 長野市立長野図書館3階 講義室

3 出席者

- (1) 委員9名 浅川佐代子委員、井上友子委員、衣川修平委員、小林智子委員、西一夫委員、美谷島恵子委員、藤澤喜三子委員、藤田良子委員、山崎富夫委員
- (2) 事務局9名 教育次長 樋口圭一  
家庭・地域学びの課 小池秀一課長、西村友香主事  
長野図書館 石井春恵館長、青木一芳館長補佐、稲葉聡子館長補佐  
内海 修係長  
南部図書館 丸野俊朗館長、内山貴博館長補佐

4 次 第

- (1) 開 会
- (2) 教育次長あいさつ
- (3) 委員長あいさつ
- (4) 協議事項
  - ア 令和2年度の主な事業実績について
  - イ 令和3年度の主要事業計画(案)について
  - ウ その他
- (5) その他
- (6) 閉 会

5 議事内容

(1) 開 会 <開会のことば>

(2) 教育次長あいさつ

**教育次長**：本日は、お忙しい中ご出席をいただきありがとうございます。教育委員会の行政部門を担当しております、教育次長の樋口と申します。

本協議会は年に2回開催しており、本日は、令和2年度第2回の協議会ですが、何卒よろしくお願ひします。

長野市立図書館は、教育や文化の発展のため重要な施設であり、市民に親しまれ、市民の要望に応え、生涯学習に貢献する図書館を目指して努力しているところであります。

そのような中、新型コロナウイルス感染症に関してこれまでに経験の無い運営を

行ってきたところであります。前回7月の会議以降、感染者数は減少に転じましたが、昨年夏以降の第二波、そして第三波と厳しい状況が続いています。各委員の皆様も、それぞれのお立場で感染症対策に尽力のことと思いますが、長野市立図書館においては昨年4月から5月にかけての国の緊急事態宣言時に臨時休館を行い、それ以降、感染症対策を講じた上で、一部イベントの開催を縮小するなどしながら開館を続けています。利用者の皆様の協力もあり、図書館を起因とする感染者は確認されておりませんが、引き続き対策に万全を期していく所存であります。

前回の会議の結びに、私から「次回の会議では明るい話題で会議が進むよう願っている。」と申し上げました。今月に入り国内及び県内の新規感染者数は減少傾向にあり、トンネルの出口が見えつつある状況かと思いますが、もうしばらく辛抱が必要ではないかと思っております。

本日は、令和2年度の主な事業実績及び令和3年度の主要事業計画についてご審議をお願いいたします。委員の皆様には、忌憚のないご意見をいただきたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### (3) 委員長あいさつ

**委員長：**委員長の西でございます。新型コロナウイルス感染症の影響で、これまでの日常が日常ではなくなっています。必然的に生活スタイルを変えなければなりません、今まで普通だった価値観が大きく変わるということは、これまでの歴史上も何度かあったのかと思っております。私は立場上、会議などであいさつをする機会があります。その際に申し上げるのが、350年ほど前にヨーロッパでペストが大流行した際、ニュートンがロンドンを離れ故郷で約1年間生活をしたとのことですが、彼の3大発明は、この田舎での暮らしの中で生まれてきたと言われております。つまり私たちは制約を加えられることで生きる力を更に強め、次のステップに進むきっかけとすることができるのだと、前向きにとらえるようにしながら、ここ半年は生活をしてきました。長野市立図書館に係る皆さんも、いろいろとご苦勞があったかと思いますが、教育や研究に関わる機関として、次のステップに向けどうしていくのか、忌憚のないご意見をいただく中で次年度の計画に生かしていく会議としたいので、ご協力をお願いします。

### (4) 協議事項

ア 令和2年度の主な事業実績について

イ 令和3年度の主要事業計画(案)について

<会議資料(事業実績・事業計画)及び同(別紙・図書館基本計画)により一括説明>

**委員長：**ただ今、事務局から今年度の事業実績及び来年度の主要事業計画(案)について一括で説明をいただきました。先ずは、今年度の事業実績について、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

**委 員**：除籍本のリサイクルについて伺います。南部図書館では、一般の皆さんへ除籍本を配布する前に、公用で活用できるものは活用していただく趣旨で、希望する市の機関へ事前配付を行っているとお聞きしておりますが、長野図書館では同様の措置を取られているのでしょうか。

**事務局**：従前、長野図書館での除籍本は雑誌が中心でしたので、ご質問いただいた件は実施しておりませんでした。今後は、一般書の除籍も増えていくので、事前配付を計画したいと考えております。ただし、新型コロナウイルス感染症対策のため、現時点では実施に至っておりません。

**委 員**：近年、ボランティアに向けての読み聞かせ講座を開催し、多くの方に参加いただいていると思いますが、受講後、それぞれの方がボランティア活動を行っていく体制が取られているのか、それと講座名について、長野図書館では「読みがたり」、南部図書館では「読み聞かせ」としてはありますが、この違いに理由はあるのでしょうか。

**事務局**：長野図書館では、平成 30 年と令和元年に受講いただいた方々の中から長野図書館のボランティアとして活動いただける方を募り、今年度「ボランティア養成講座」を行っています。現在 3 グループが出来ており、本年 4 月以降これらの皆さんに活動いただく予定となっております。

**事務局**：南部図書館では、中級講座を受講いただいた皆さんに新たにボランティアグループを立ち上げていただきたいと申し上げましたが、そこまで発展していただくことはできませんでした。結果として、既存のボランティアグループへご加入いただき、活動いただいております。

また、読み聞かせとは別に配架ボランティアを募集し活動いただいておりますが、配架ボランティアは、個々に空いた時間に自由にご来館いただき活動いただいているので、グループ結成という形を取っている訳ではありません。

**事務局**：もう 1 点のご質問、講座の名称につきましては、講師の方のご意向によるものです。

**委 員**：私の友人の話になりますが、分室で本の予約を行いましたところ、「50 人待ち」との説明を受けたが、意外と早く借りることができたとのこと。図書購入の予算の関係とかもあるかと思いますが、どのように対応されているのかお伺いします。

**事務局**：例えば芥川賞受賞作品など、予約が多数入ることが予想される本については、本館分、移動図書館分、分室分としてバランスを取りながら、また図書購入の予算等を見据えながら、計画的に複数購入しております。本館と分室との予約は別系統になっておりますので、例えば本館で 50 人待ちの状態であっても、分室では早めにお

借りいただけることがあるかと思えます。また、あまり人気がない本でも、図書館として必要な本は買わなければならないので、その辺はご理解をお願いします。

**委 員**：除籍本のリサイクルについては、引き取ってもらえる割合は全体の何割ぐらいになるのでしょうか。

**事務局**：長野図書館で昨年3月に実施した際、当日は残る本が多数ありましたが、残った本はそれ以降、図書館ロビーや出入口脇に置き「ご自由にお持ち帰りください。」と出したところ、最終的にはすべてお持ちいただいた状況であります。

**事務局**：南部図書館におきましては、10月の図書館まつりに合わせて除籍本のリサイクルを実施しております。図書館まつりは2日間なのでそこですべての配布を終えることはできませんでしたが、長野図書館と同様、図書館まつりの日以降、出入口に置くことによりすべてお持ちいただいております。

**委 員**：学校として団体貸出を受ける際に、団体登録などの手続きが簡略化されればありがたいと思うのですが、いかがでしょうか。

**事務局**：貸出については通常の貸出と同様なので、冊数が多いときはその手続きに時間がかかってしまうことがあるかと思えます。団体登録につきましては、学校名に加え代表者名(学校長名)も登録いただいているので、校長に人事異動があった際には、新校長名を届け出ていただくこととなります。代表者名の変更手続きにつきましては煩雑というご意見でありましたら、今後検討して参りたいと思えます。

**委員長**：学校長に異動があった際に、校長名は公になりますし、長野市立の小中学校であれば図書館側で校長名を更新することは、可能ではないかと思えます。ご検討をお願いできればと思えます。

**委 員**：ご意見箱へ寄せられた意見のうち、主なものをお聞かせ願えたらと思えます。

**事務局**：長野図書館では、1階児童書コーナーと一般書コーナーとが近接しているため「子どもの声がうるさい」との意見があります。またインターロッキング(外構)欠損のご指摘、職員の対応に対するお叱りの言葉、お褒めの言葉などがあります。傾向としては、子どもの声や走り回る音に対する指摘が多い状況であります。

**事務局**：南部図書館では、このような雑誌を置いてもらいたいという要望、職員の対応に関する意見(苦情)、マスク未着用の来館者へ注意を促してもらいたいという要望、駐車場に対する苦情がありました。

**委 員**：私は子供たちに読み聞かせなどを行うボランティアに携わっています。数年前のことですが、図書館1階のお話しコーナーで手遊びなどをしたり歌ったりしていた際、一般の皆さんが静かに本を読む一角での実施だったので、苦情がないか心配をしておりました。そのことを当時の館長へ相談したところ「子どもたちの読み聞かせの時間は、子ども達に大いに声を出させてください。遠慮は無用です。」と言われ、安心して活動ができました。通常時、子ども達が館内を走り回り、他の利用者の迷惑になるのは保護者の問題ですが、読み聞かせなどイベント時には参加者や他の利用者も含め、当時の館長のような広報を行っていただければと要望いたします。

**委員長**：私から1点、令和元年東日本台風災害に伴い、移動図書館のうち2箇所が休止中である中、長沼支所が本年4月から巡回が再開するとのことでした。残る1箇所の再開についての見込みは、どんな感じなのでしょうか。また、長沼交流センターの分室の再開については、いかがでしょうか。

**事務局**：移動図書館で引き続き休止とするのは、長野市赤沼地籍で国道18号線沿いの大型商業施設があった場所です。この商業施設が閉鎖され、事業再開の見込みが立っていないとのことで、代替となる巡回場所を探しておりますが、駐車場の確保等の課題があり、再開の見込みが立っておりません。引き続き、残る1箇所の再開の方策を探っていきたいと考えております。

**事務局**：これから長沼交流センターの建設を進めていく段階になっております。現在は仮設の長沼支所に併設する形で交流スペースが設けられておりますが、面積的に（仮設のため）分室を設置するだけの床面積を確保することができておりません。しかしながら、子ども達に向けての読み聞かせなどのイベントは可能な限り開催していきたいと考えております。いずれにせよ、交流センターの再開に向けて建設を早期に進めていくことに力を注いでいく所存であります。

**委 員**：読書手帳については、子供向けだけでなく大人向けもあれば良いと思うのですが、いかがでしょうか。

**事務局**：読書手帳につきましては、一応、子どもと大人の兼用としているところであります。なお図書館ホームページの利用者ポータルという所で、希望された方は自身が読んだ本が確認できるようになっております。インターネットの利用環境がある方におかれましては、是非ご利用いただければと思います。

**委 員**：学校図書館では本がバーコード管理されており、読んだ（貸し出した）本は児童ごとにリスト化できるようになっております。図書館においても、同様の対応はできないものなのでしょうか。

**事務局**：先ほど説明がありましたように、ホームページ上でご本人により確認いただくことはできますが、個人情報保護のため図書館では返却処理した本のデータは見れなくなりますので、図書館カウンターでお知らせすることは出来ないことになっております。

**委員長**：続いて、来年度の計画について、ご意見、ご質問等をお出しいただければと思いますが、いかがでしょうか。

**委員**：全国各地域の図書館では、フェイスブックをやっており、様々な情報発信が行われていることを目にします。長野市においても実施されたらと願っております。要望としてお願いします。

**委員長**：県内でも、飯田市立図書館が積極的に情報発信をしているようにお見受けしております。一例を申し上げます、図書館で購入したばかりで書架に並んだばかりの本の写真を1週間から10日に一度更新しています。たとえ背表紙だけでも、視覚的に見せるだけでも、一般利用者にはイメージしていただけます。このように手間を掛けずに、効率的に情報を外に出していく手法も参考にさせていただき、お考えいただければと思います。若い世代にどう図書館を利用していただくかを考えると、最近利用者が増えているSNSを活用していくことも、有効ではないでしょうか。

**委員**：2月13日(土)に東北地方で発生した最大震度6強の地震により、福島県郡山市立図書館(14館)が全館休館しているとの報道がされています。理由は、書籍の多くが棚から落下・散乱し、その復旧のためとのこと。東日本大震災以降に設置された転倒防止が施された本棚は被害がほとんどないらしいのですが、本日の会議前、長野市立図書館での本棚の転倒防止対策について確認させていただいたところ、転倒防止対策済みとのことでした。また、新型コロナウイルス感染症の影響がある中、図書館利用の減少幅が10%前後に留まっていることにも感心しました。職員の皆さんの日頃の努力に感謝申し上げます。

**委員長**：書籍落下防止のテープを張るだけでも違うと思います。私に関わる大学でも、そのような工夫ができればと思っております。

**委員**：学校教育での活用を目的に人権教育に関する本をお借りするため、南部図書館へ伺ったところ、司書の皆さんにとっても丁寧にご対応いただきました。ちょっとした心遣いが、市民にはありがたく感じます。職員の皆さんへお伝えください。

ウ その他

**委員長**：その他として、本日の議事に関連してご発言があれば、お願いします。

**委 員**：南部図書館の改築の方向性について、お聞かせ願えればと思います。

**事務局**：現在、地元篠ノ井地区の役員さん達と協議させていただいております。その中で、先ずは現在の建物の耐震性の有無について確認しているところであります。耐震診断の結果を見て今後どうしていくか相談させていただくことにしております。

**委員長**：他に意見が無いようでしたら、進行を事務局へお返ししたいと思います。委員の皆様のご貴重なご意見、ご発言ありがとうございました。

(5) その他

**事務局**：長野市立図書館協議会の委員の任期につきましては本年6月までとなっており、次回会議前に改選がございます。そのような中、現在、公募委員2名の募集を行っております。募集は、広報ながの2月号などで呼び掛けており、申込期限は3月5日(金)となっております。

なお、公募委員以外の委員の皆様につきましては、年度が改まりましたら、皆様が所属されている団体の皆様へ、改めて推薦をお願いさせていただく予定としております。推薦の依頼がございましたらご協力いただきますよう、よろしく願い申し上げます。

(6) 閉 会

**教育次長**：本日は長時間にわたり熱心にご協議をいただき、ありがとうございました。いただいた貴重なご意見は、今後の図書館運営に反映させていきたいと考えております。本日の協議にも出て参りましたが、このコロナ禍にあっても長野市立図書館は、市民の皆さまに望まれている施設だと改めて実感いたしました。今後も、市民の皆さまの要望に応える施設にしていくため、一生懸命取り組んで参ります。

なお、事務局から話がありましたとおり、各委員の皆様には、令和元年6月に委嘱させていただき2年が経過するところであり、本日の協議会が最後となる予定です。今回でご退任される方、また引き続きお願いしていく方もいらっしゃると思いますが、この協議会のみならず今後とも色々な場面でご意見を頂ければと思います。また、市の審議会の指針で、委員の任期は最長で3期又は6年と定められているため、西委員長様におかれては今期をもって任期満了となります。これまで当協議会の取りまとめをはじめ、大変ご尽力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。併せて、これまでご尽力いただきましたすべての委員の皆さまに心から感謝申し上げます、閉会のあいさつとさせていただきます。本日は、ありがとうございました。